

平和憲法・9条をまもる

岩手の会 ニュース No.46

2009.6.4

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019 - 684 - 2225

FAX 019 - 684 - 2227

原爆被害から人命を救うには 核兵器をなくすこと以外に道はない

・朗読「夏の雲は忘れない」上演（7/28、盛岡）への思い

人類は広島・長崎での被爆のみならず核実験、劣化ウラン弾で放射能による障害を受けてきました。しかし進歩した医療技術をもってしても人命を救うことはできませんでした。放射能障害に対して、医学医療は全く無力でした。

こうした経験から、原爆の被害から人命を救うには、核兵器を世界から無くすこと以外に道はないことが医療者の中で認識されるようになりました。私たちは医師の使命を胸に1989年に「岩手県反核医師歯科医師の会」を結成し、核兵器廃絶の運動を進めてきました。

しかし目標とは逆に、世界では核保有国が増え続けてきました。核兵器廃絶は夢に終わるのかとさえ思われていた時、世界に新たな動きが生まれました。

昨年1月、原爆を作り続けてきたアメリカ政権の高官だったキッシンジャーやシュルツなど4人が「核兵器のない世界へ」の呼びかけをおこない、それにアメリカの旧高官の2/3が賛同するまでになりました。

そうした動きを背景に、今年の4月5日にオバマ大統領がプラハで、「人類に原子爆弾を投下した唯一の国として道義的責任を感じる。核兵器を廃絶する取組をおこなおう」と演説し人々を驚かせ、ヨーロッパをはじめ世界中に大きな反響を起しております。

世界医師会の呼びかけにこたえて、日本医師会は今年3月の第67回総会で「核兵器廃絶に関する決議」を満場一致で可決しました。歴史的なことです。

来年は核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれます。その会議で日本やアメリカが先頭に立ち核兵器廃絶の確かな道筋を確立しなければなりません。

さらに来年から憲法改定のための国民投票法が施行されます。憲法改悪を阻止し核兵器を廃絶するためには、今年、戦争、憲法9条、核兵器について真剣に考える国民的運動が広がるのが不可欠です。

岩手の中でこうした取り組みを広げるために、18人の女優が広島・長崎の被爆体験をけって風化させてはならないとの深い思いで取り組んでいる、朗読「夏の雲は忘れない」を地元の高校生も出演して上演することを決めました。活動を広げるために、多くの団体と実行委員会を立ち上げ準備を進めております。

300人400人の方達にチケットを持っていただき、多くの人に広げていただくことが上演を成功させるために不可欠です。9条の会の皆様と想いを一つにして、一緒に取組めますことを期待いたしております。

岩手県反核医師歯科医師の会 事務局長 坂正毅さん(かわくぼ往診センター院長)



朗読「夏の雲は忘れない」 7月28日(火) 14:00~ 18:30~

と ころ：盛岡劇場メインホール 前売り：大人2,000円 小中高生500円

前売券は生協各店舗、プレイガイドにあります

7月29日(水)久慈市・アンバーホール、7月30日(木)北上市・さくらホール でも上演

とうわ九条の会 3周年記念講演に向けて準備中！

13日(土)「イラク人医師が語る母国の現実」

とうわ九条の会は6月13日(土)に発会3周年記念講演を開催。イラク人医師のモハメッド・ヌーリ・シャキルさん(32歳)をお招きして、マスコミが伝えない実際のイラクの様子をお聞きします。シャキルさんはイラク戦争後、無政府状態となったイラクで医療活動していましたが、たくさんの医師が暗殺される中、自身も脅迫状を受け、その後ヨルダンへ。06年に来日し、現在は大阪大学大学院で癌研究に従事しながら、医師の眼から見た経済制裁や戦禍の実態を各地で報告している方です。講演に先立ち、会の5月学習会ではシャキルさんの講演録ブックレット「イラクの現実を見て！」(K9MP編集・発行)と一緒に読んだりしながら、当日に備えているところです。ちなみにシャキルさんは英語でお話しますが、通訳を東和町で英会話教室を営むアメリカ出身のアソニー・バッシュさんがしてくれます。



「医師の私が救えるのは1年に100人くらい。でも憲法と平和の運動は世界中の人々の命を救うことができる・・・」というシャキルさんの訴えをぜひ一緒に聞きましょう！ご参加お待ちしております。

6月13日(土) 14:00～ 東和図書館 視聴覚室(花巻市) 入場料500円

同日の午前中に盛岡、夜に北上でもシャキルさんのお話があります(入場料500円)
どなたでもご参加ください

10:00～ 岩手県水産会館 5階大会議室(主催:平和憲法・9条をまもる盛岡地域推進会議)

18:00～ 北上市生涯学習センター 第3学習室(主催:平和ネット北上)

小森陽一さん講演には400人が参加

<北上九条の会>

「北上九条の会」は5月17日、小森陽一さん(東大大学院教授、「九条の会」事務局長)を迎えて結成4周年記念講演を開催し、約400人が参加しました。小森さんは湾岸戦争や自衛隊の海外派遣などを背景とした九条問題を説明。「9条を守り生かせば、新たな平和への道筋を切り開いていける」と話し、会場に感動と共感が広がりました。



反核平和マラソンがスタート!

県内一周反核平和マラソンがスタートしました。

これは、自治労連青年部やいわて労連青年部などで行われるもので、今年で24回を数えます。お揃いのオリジナルTシャツで、釜石から北コース(宮古 久慈 葛巻)・南コース(陸前高田 一関 奥州)に別れ、のべ800人が4日後の盛岡市役所前ゴールをめざし、『核兵器も戦争もない平和な世界を』をスローガンに、米大統領オバマ氏の核兵器廃絶に向けた意欲的な発言に弾みをつけながら、核兵器廃絶・平和憲法9条を守って世界に平和をと訴えタスキをつなぎます。



次回の署名行動

6月は、9日(火)に大通り野村證券前にて12:00から行ないます